

「忍岡中学校教育目標」

「明るく楽しい学校」「安全で規律ある学校」「保護者・地域から信頼される学校」を実現し、本校の伝統の教育理念である清純・忍耐・進取を内容とする「白梅精神」の高揚を目指して、次の目標を定める。

- 根気よく心身を鍛える
- 深く考えくふうする
- 思いやりの心をもつ

幅広い学力

- 授業規律(スタンダード)の徹底
- 学力の客観的把握による授業改善と個別最適化の推進による学力の向上
- 主体的に学ぶ意欲の向上

豊かな人間性

- 思いやりの心と互助共生の精神の育成
- 高い規範意識の醸成と自主・自律の確立
- 良好な人間関係を構築
- 自己理解と自己実現の推進

健康や体力

- 健全な生活習慣の確立
- 健康の保持増進と体力の向上
- 望ましい食習慣の形成
- 安心・安全な環境の整備

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○ 学校教育の基本

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- 思考力、判断力、表現力等の育成
- 他者と協働して物事を進められる力の育成
- 高い志をもち、社会に貢献しようとする態度の育成
- 規範意識の高揚
- 全ての学習の基盤となる汎用的な能力

何が身に付いたか

○ 学習評価を通じた学習指導の改善

- 生徒自身が自らの学びを振り返ることができる機会の設定(授業内における学習の振り返りの実施、定期考査後や学期末の振り返り)
- 学習状況を的確に把握する評価方法の工夫
- 多様な学習活動を対象とした多面的・多角的な評価
- 学習評価を通じた学習指導の改善

生徒の実態

- 学習に関する意欲が高く、学習への規範意識の高い生徒が多い。
- 集団における習熟度の差が大きい状況にある。
- 自己肯定感や主体的に学ぶとする意欲が低い生徒が一部にいる。

生徒の発達をどのように支援するか

○ 配慮や支援を必要とする生徒への指導

- SCやSSW、支援員、巡回指導教員、外部関係諸機関等を活用した特別な配慮や支援が必要な生徒、不登校生徒への適切な援助
- 日本語指導が必要な生徒への指導員による語学指導の実施と音声翻訳機の活用

目指す生徒像

- 高いこころざしをもち、どのような困難があっても自らの将来を生き抜こうとする生徒
- 社会に貢献しながら何事にも全力で取り組むことのできる生徒
- 自他を尊重し、相互共生することができる生徒

何を学ぶか

○ 教育課程の編成

- 各教科における生徒の客観的な学力に基づく指導計画の作成と授業改善による学習活動の充実
- 道徳教育推進教師による道徳教育の充実
- 学習進路指導部によるキャリア教育の充実

どのように学ぶか

○ 教育課程の実施

- ICTを活用した授業と基礎的・基本的内容の確実な定着と実践的活用力の向上を目指した授業の実践
- 議論する道徳授業の実践と道徳実践力の育成
- 体験的な活動を活用したキャリア教育の充実

実施するために何が必要か

○ 指導体制の充実、家庭・地域社会との連携・協働

- 学校評価(教員対象、保護者対象)の結果を踏まえた「具体的な改善の方向性」の策定と明示
- 研究授業による校内研究の充実、タブレット端末の効果的に活用、「授業における心構え7」等の実践
- 学校公開週間等におけるアンケートの実施及び結果の周知、年3回の学校運営連絡協議会の活用
- 部活動指導員を効果的に活用した部活動指導の充実と部活動体制の安定化

安心・安全を守る

- いじめ防止基本方針の策定と運営
- 年間計画に沿った避難訓練等の実施と工夫改善
- 関係諸機関との連携による安全対策の充実
- 安全点検(部活動・施設)の実施と安全への意識向上
- 感染症に対する徹底した衛生管理と対応策の工夫

開かれた学校づくり

- 学校公開、学校説明会、道徳授業地区公開講座の充実
- 保護者アンケートの実施
- 学校ホームページにおける情報発信の充実(学校ブログ等の活用)
- 学校運営連絡協議会の開催及び学校評価の実施